

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略
令和3年度分 評価・検証資料

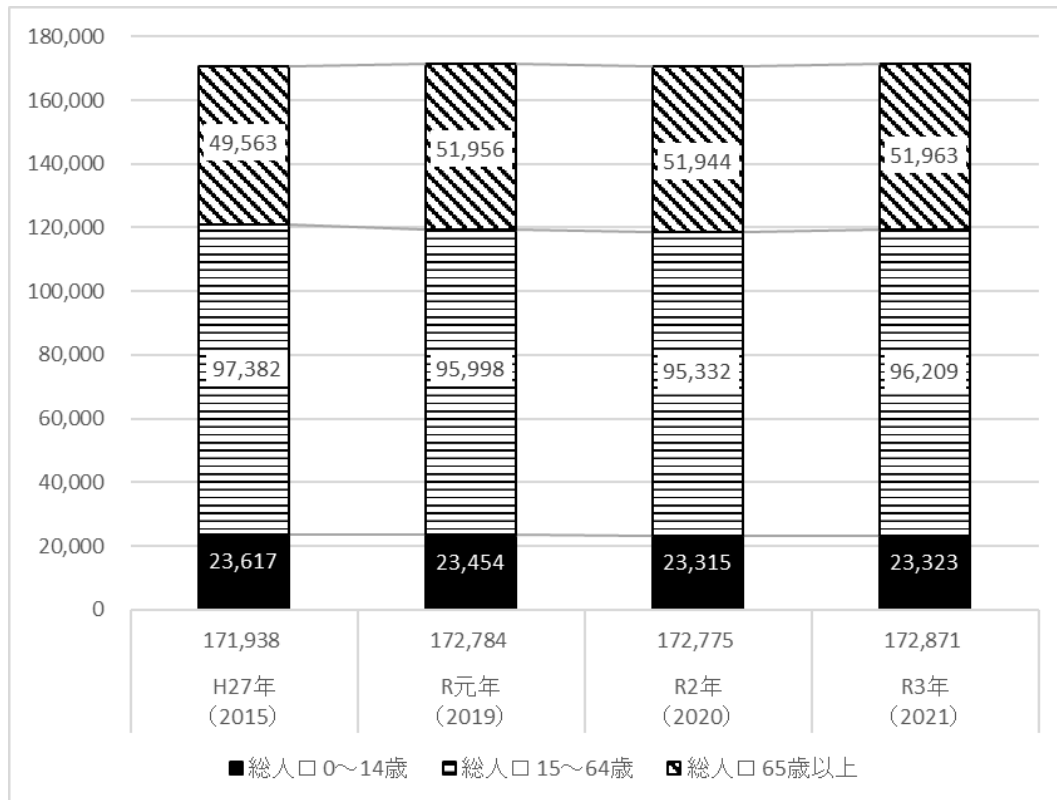
出雲市の人口動向

(1) 人口の推移

平成27年及び令和2年は国勢調査の人口、令和元年と令和3年は、平成27年及び令和2年国勢調査人口をもとに、島根県が実施する「人口移動調査」の結果を加算、減算した推計人口です。(10月1日現在)

	H27年 (2015)	R元年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	増減 H27-R3比
総人口	171,938人	172,784人	172,775人	172,871人	+933人
0～14歳	23,617人	23,454人	23,315人	23,323人	▲294人
15～64歳	97,382人	95,998人	95,332人	96,209人	▲1,173人
65歳以上	49,563人	51,956人	51,944人	51,963人	+2,400人
(75歳以上)	26,428人	27,453人	27,198人	26,888人	+460人

注) 国勢調査の年齢不詳人数を含んでいないため、総人口と年齢別内訳の合計は合わない。



- ・総人口は 933人 増加しています。
- ・年少人口(0歳～14歳)は 294人 減少しましたが、昨年に比べ減り幅が少なくなっています。(R2年 △302人)
- ・生産年齢人口(15歳～64歳)は 1,173人 減少しましたが、昨年に比べ減り幅が少なくなっています。(R2年 △2,050人)
- ・老年人口(65歳以上)は 2,400人 増加し、増加傾向です。
(R2年 +2,381人)

総人口は増加しているものの、年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口が増加しており、これまでと同様に、少子高齢化の状況が進んでいます。

(2) 人口(実績)と目標人口、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)推計の比較

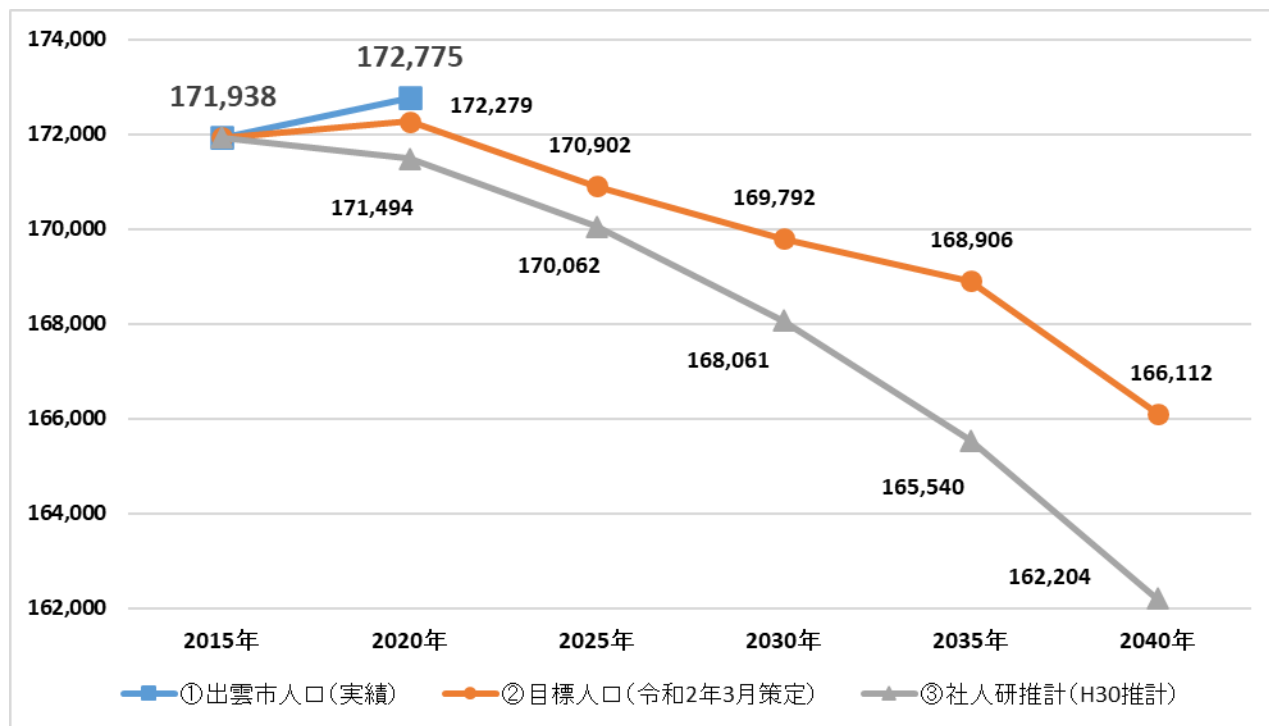
- ①人口(実績) 平成27年(2015)国勢調査確定値、令和2年(2020)国勢調査確定値です。
- ②目標人口 社人研による平成30年推計人口に、政策による効果(出生率の上昇、社会増)を見込んで推計した数値です。
- ③社人研推計 平成27年(2015)国勢調査による男女・年齢別人口を基準として、出生、死亡、社会移動に関する将来の仮定値を当てはめていく方法(コーホート要因法)により、将来人口を推計しています。

(単位:人)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
①出雲市人口(実績)	171,938	172,775				
②目標人口(令和2年3月策定)	171,938	172,279	170,902	169,792	168,906	166,112
③社人研推計(H30推計)	171,938	171,494	170,062	168,061	165,540	162,204

※2015年及び2020年び人口は国勢調査確定値

(単位:人)



令和2年国勢調査による総人口(172,775人)は、出雲市人口ビジョンによる2020年の目標人口(172,279人)を496人上回っています。

(3) 地域・地区別人口の推移

＜参考＞				
地域名	平成27年 9月末	令和3年 9月末	令和4年 9月末	H27-R3 増減率 (%)
総数	174,804	174,769	174,341	△ 0.0
出雲地域	92,140	94,876	95,136	3.0
今市地区	6,543	6,453	6,331	△ 1.4
大津地区	9,583	9,993	9,972	4.3
塩冶地区	15,323	15,789	15,815	3.0
古志地区	2,046	1,988	2,020	△ 2.8
高松地区	10,130	10,678	10,780	5.4
四絡地区	11,437	12,495	12,572	9.3
高浜地区	3,778	3,830	3,853	1.4
川跡地区	9,693	10,236	10,409	5.6
鳶巣地区	1,568	1,594	1,594	1.7
上津地区	1,315	1,123	1,108	△ 14.6
稗原地区	1,856	1,619	1,568	△ 12.8
朝山地区	1,864	1,673	1,622	△ 10.2
乙立地区	656	552	537	△ 15.9
神門地区	7,514	8,163	8,339	8.6
神西地区	3,740	3,648	3,636	△ 2.5
長浜地区	5,094	5,042	4,980	△ 1.0
斐川地域	28,677	30,074	30,163	4.9
荘原地区	7,262	7,434	7,495	2.4
阿宮地区	487	423	397	△ 13.1
出西地区	4,590	5,012	5,037	9.2
伊波野地区	6,189	6,828	6,884	10.3
直江地区	3,550	3,979	3,945	12.1
久木地区	2,471	2,469	2,482	△ 0.1
出東地区	4,128	3,929	3,923	△ 4.8

＜参考＞				
地域名	平成27年 9月末	令和3年 9月末	令和4年 9月末	H27-R3 増減率 (%)
平田地域	26,276	24,211	23,766	△ 7.9
平田地区	6,904	6,627	6,564	△ 4.0
灘分地区	3,573	3,296	3,242	△ 7.8
国富地区	3,028	2,868	2,821	△ 5.3
西田地区	1,749	1,545	1,488	△ 11.7
鱒淵地区	684	582	572	△ 14.9
久多美地区	2,237	2,095	2,058	△ 6.3
桧山地区	1,417	1,315	1,281	△ 7.2
東地区	2,668	2,400	2,347	△ 10.0
北浜地区	1,166	1,010	967	△ 13.4
佐香地区	1,496	1,242	1,219	△ 17.0
伊野地区	1,354	1,231	1,207	△ 9.1
佐田地域	3,599	3,007	2,907	△ 16.4
須佐地区	2,060	1,707	1,653	△ 17.1
窪田地区	1,539	1,300	1,254	△ 15.5
多伎地域	3,659	3,284	3,215	△ 10.2
湖陵地域	5,444	5,123	5,053	△ 5.9
大社地域	15,009	14,194	14,101	△ 5.4
遙基地区	2,378	2,277	2,264	△ 4.2
荒木地区	6,084	6,017	6,075	△ 1.1
大社地区	5,596	5,121	5,007	△ 8.5
日御碕地区	722	598	581	△ 17.2
鶺鴒地区	229	181	174	△ 21.0

出典) 住民基本台帳人口

- ・ 出雲及び斐川地域では人口が増加しています。
- ・ 平田、佐田、多伎、湖陵及び大社地域では人口が減少しています。
- ・ 地区別では、出雲地域、斐川地域の12地区（R2比△2地区）で増加している一方で、その他の31地区、特に山間部や海岸部での減少傾向が顕著となっています。

人口が増加傾向にある地域と減少傾向にある地域があり、その傾向は年々顕著になっています。

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略に係る令和3年度進捗状況

(1) 総合戦略の基本目標に係る実施結果

基本目標	数値目標 (R2~R6)	R3 実績値
(1)出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する	雇用創出 (5年間) 1,000人 (H27~R元年度実績 1,537人)	268人 (R2,3年度実績 613人)
(2)出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる	社会増〔転入-転出〕 (5年間) 1,600人 (H27~R元年度実績 3,060人)	251人 (R2,3年度実績 908人)
(3)出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる	出生数 (5年間) 8,000人 (H27~R元年度実績 7,486人)	1,490人 (R2,3年度実績 2,871人)
(4)住みやすさNo.1のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める	市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90% (R元年度調査 86%)	89.4% (R3年度調査結果より)
(5)広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす	中海・宍道湖・大山圏域人口 60万人の維持 (R2年3月末住民基本台帳人口 64.7万人)	63.8万人 (R4年3月末住民基本台帳人口)

※(5)は、「中海・宍道湖・大山圏域市長会」の構成市の共通目標

(2) 基本目標毎の重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

	指標数	評価				
		A	B	C	D	その他
合計	93	32	20	20	19	2
基本目標(1)	20	10	3	5	2	0
基本目標(2)	11	4	1	4	0	2
基本目標(3)	35	14	8	6	7	0
基本目標(4)	21	3	7	5	6	0
基本目標(5)	6	1	1	0	4	0

【評価方法】 令和3年度の目標値と実績値とを比較して達成率を算出し評価区分を判定

A：令和3年度実績値が「R3年度目標値」を上回った。

B：「R3年度目標値」に対する令和3年度実績値の達成率「8割以上10割未満」

C：「R3年度目標値」に対する令和3年度実績値の達成率「6割以上8割未満」

D：「R3年度目標値」に対する令和3年度実績値の達成率「6割未満」

基本目標（１） 出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する

数値目標	雇用創出数（５年間） 1, 000人 ＜参考＞ 単年度平均 1,000人÷5年=200人
実績値	268人

＜実績内訳＞

出雲市総合振興計画『出雲未来図』の「雇用創出2500人プロジェクト」実績(単位:人)

年度	雇用創出数 (A)	内訳:雇用等形態		参考	
		創業・自営	正規	非正規 (B)	新規雇用者数 (A)+(B)
H27	260	15	245	37	297
H28	255	13	242	68	323
H29	338	9	329	56	394
H30	295	12	283	26	321
R元	389	17	372	48	437
R2	345	17	328	22	367
R3	268	25	243	48	316
計	2,150	108	2,042	305	2,455

〔令和3年度 雇用創出数 268人の内訳〕

- | | |
|----------------------|------|
| ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの | 213人 |
| ② 出雲ブランド認定企業によるもの | 17人 |
| ③ 空き店舗を活用した開業支援によるもの | 15人 |
| ④ 新規就農者支援によるもの | 8人 |
| ⑤ その他 | 15人 |

参考〔平成27年度～令和2年度 雇用創出数の内訳〕

- | | |
|---------------------|--------|
| ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの | 1,468人 |
| ② 観光産業（宿泊業）の振興によるもの | 81人 |
| ③ 出雲ブランド認定企業によるもの | 71人 |
| ④ 新規就農者支援によるもの | 52人 |
| ⑤ 児童クラブの充実支援によるもの | 49人 |
| ⑥ その他 | 161人 |

企業の新設・増設等が雇用創出に大きく貢献しています。
観光振興、出雲ブランド商品認定及び新規就農者支援なども効果が表れています。

【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	実績値	目標値	(参考) R3年度目標値	評価
				R3年度	R6年度末		
(1)第一次 産業の活性化と担い手の育成・確保	1	認定新規就農者数	人	9	7人増 (対前年度比)	7	A
	2	集約した施業団地数	団地	1	5 (5年間)	1	A
	3	学校給食地産地消率	%	59.7	63.0	61.2	B
(2)出雲ブランドの活用	4	出雲ブランド商品認定数	商品	28	39	29	B
	5	「おいしい出雲」認定数	商品	122	180	170	B
(3)滞在型 観光の充実 とインバウンドの推進	6	観光入込客数 (1月～12月)	万人	853	1,200	1,177.2	C
	7	宿泊者数 (1月～12月)	万人泊	58	100	84.82	C
	8	外国人宿泊客数 (1月～12月)	人泊	1,244	20,000	12,725	C
	9	出雲縁結び空港就航便 の利用者数	万人	43	110	104.6	C
(4)地場企業への支援	10	技能検定受検者数	人	85	350 (5年間)	70	A
	11	島根大学との共同開発 件数	件	7	30 (5年間)	6	A
	12	創業者数	件	57	200 (5年間)	40	A
	13	ビジネスマッチングによる商 談成約件数	件	9	265 (5年間)	53	D
	14	就職を希望する市内高 校新卒者の県内就職率	%	83	82	78.34	A
		就職を希望する市内高 校新卒者の市内就職率	%	66.3	70	65.14	A
(5)企業誘 致の促進	15	製造業・ソフト産業の立 地計画認定件数	件	7	30 (5年間)	6	A
(6)地域の産 業を支える 人材の確保	16	市内ソフト系IT企業従 事者数	人	455	480	390	A
	17	就職を希望する市内高 校新卒者の県内就職率	%	No.14と同様			
		就職を希望する市内高 校新卒者の市内就職率	%				
	18	県外交流会参加学生数	人	0	250 (5年間)	50	D
	19	職場定着向上支援セミ ナー受講者数	人	66	500 (5年間)	100	C
職場定着向上支援セミ ナー実施回数		回	3	3回/年	3	A	

はR3年度にKPIを改訂した箇所

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
20	10	3	5	2

(1) 第一次産業の活性化と担い手の育成・確保

- 継続的な新規就農者の確保に向け、オンラインバスツアーや新規就農者への支援金支給などに取り組み、1名のIターン者の認定新規就農者がありました。
- 地産地消の推進については、毎月、「学校給食マッチング会議」を開催し、食材（野菜、果物）に関する情報交換を行い、積極的に献立に取り入れています。大雨など天候の影響を受け減少し、目標に届きませんでした。

(2) 出雲ブランドの活用

- 出雲ブランド商品については、デジタルマーケティングを実施し、商品PR・販売促進に繋がっています。認定数については、3件の申請があったものの、2件が基準に合致しませんでした。
- おいしい出雲においても、商品紹介やフォトコンテストなどの情報発信を展開し、商品PR・販売促進に繋がりました。目標値には達しませんでした。追加認定期間（1年）では、目標値の倍となる8商品の認定を行いました。

(3) 滞在型観光の充実とインバウンドの推進

- コロナの影響が続く厳しいなか、「戦略的な情報発信と観光資源の発掘・活用」など4つの具体的な施策を掲げ、体験型旅行商品の造成、周遊観光タクシーの運行、国際交流員による情報発信などに取り組みました。
- コロナ感染拡大と観光入込客数、宿泊客数の波はほぼ一致しており、全国的な観光需要の冷え込みが直接的に影響を受けています。また、コロナ禍により、本来のイベントや施策等の需要、評価等を測ることが困難です。

(4) 地場企業への支援

- 創業支援については、創業に関するセミナーや相談窓口等による支援を継続し、創業件数の増加につなげることができました。
- 産学官金連携による医工連携の推進についても、セミナーの開催や広報等の実施により、共同開発に至るまでの契機が増加し、目標値を上回ることができました。
- 地場企業の人材確保については、高校の進路指導を担当する教員を対象に、採用情報の提供、企業との情報交換会の実施、生徒対象には、企業見学会、企業ガイダンス等を行い、目標値を上回ることができました。
- 販路拡大については、関係団体と連携し、ビジネスマッチングに取り組みましたが、コロナ感染拡大に伴い、WEB会議開催となり、例年の参加者の確保が難しく、目標値を下回りました。
- ものづくり企業支援については、事業者として技能検定の負担をしている事業者が少なく、直接的な支援とならなかったため、制度を廃止しました。

(5) 企業誘致の促進

- 昨年に引き続き、コロナ禍の中、誘致企業へのフォローアップ訪問を行い、企業立地優遇制度を活用する立地済み企業の増設及び首都圏からの新規立地を積極的に働きかけ、目標を達成することができました。
- 都市部企業の地方移転、地方分散の動きが加速化する流れを受けて、今後さらにサテライトオフィスの整備を継続し、市外企業の誘致と雇用の場の確保を積極的に進めます。

(6) 地域の産業を支える人材の確保

- IT産業の振興については、県事業「首都圏IT技術者のUIターンイベント」を利用し、市内ソフト系IT企業従事者数の確保につなげました。
- 職場定着向上支援については、中小企業向けに合同研修を継続して開催し、離職防止、離職率低下により、雇用安定につなげることができました。開催数は目標をクリアしましたが、規模は縮小したため参加者数は目標を達成することはできませんでした。
- 県外進学者へのアプローチについては、県外大学等の情報交換、「いずも学生登録」登録者へ出雲市の地域情報・就職関連情報の提供を行いました。が、「広島・大阪での交流会」を中止したため、目標を下回りました。

【地方創生推進交付金の活用】

事業名	周遊滞在型観光をめざした戦略的情報発信による「ご縁のまち"出雲"」創出プロジェクト		
事業期間	令和2年度～令和4年度		
事業概要	<p>「周遊滞在型観光の推進」「戦略的な情報発信」「インバウンドの推進」の3つの側面から本市観光の課題を整理し、各事業に取り組む。</p> <p>【周遊滞在型観光の推進】 観光客を市内の各地域に周遊させるため、二次交通対策として、広範囲に点在する各地域の観光資源をつなぐ周遊観光タクシー「うさぎ号」の運行の実施、自転車を活用したツーリズムを行う。</p> <p>【戦略的な情報発信】 宿泊しなければ来ることの出来ない地域（首都圏・F D A 就航地等）や、旅行に興味を持つ人などをターゲットとし、国内外への動画やSNSを活用したデジタルマーケティングを実施する。計測可能なデータの収集・分析を行うことで戦略的な観光誘客政策・プロモーションの継続的改善、最適化を進め効果的な情報発信を図る。出雲大社以外の観光についても積極的に情報発信し、興味関心を持ってもらい周遊・滞在時間の延長につなげる。</p> <p>【インバウンドの推進】 出雲の認知度向上を図るため、国際交流員の取材による「外国人目線」をメインにした多言語Webサイトの充実、海外商談会やバス・空路を利用する外国人、個人旅行者に向けた取組も実施し、外国人宿泊客の増加を図る。</p>		
事業費	52,453,692円（うち交付金 26,215,445円）		
数値目標の達成状況			
	重要業績評価指標（KPI）	令和3年度実績	評価
①	宿泊者数 40,000人増（794,951人⇒834,951人）	584,920人	C
②	外国人宿泊者数 4,000人増（11,552人⇒15,552人）	1,244人	C
③	観光消費額 790百万円増（59,847百万円⇒60,637百万円）	37,113百万円	C

- 長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅行需要の低迷が続く中、早期回復に向け、誘客プロモーション等需要喚起策を実施しました。
- 引き続き、出雲観光協会と連携し、周遊プランの充実を図りながら、滞在時間延長・宿泊につながる取組を進めます。
- インバウンドについては、デジタルマーケティングによる認知度向上や受入環境整備を継続して実施します。

【地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用】

〔認定地域再生計画名〕

出雲市まち・ひと・しごと創生推進計画

〔寄附実績〕

寄附企業	寄附金額	充当事業
一般社団法人日本中小企業金融サポート機構 (東京都港区)	10万円	《事業名》人材確保対策推進事業 《概要》 地元企業の人材確保を目的に、出雲地区雇用推進協議会の事業や県外での取組を実施するとともに、U I ターン就職希望者及び外国人住民に対する就職支援を行う。
大栄産業株式会社 (広島県呉市)	30万円	
株式会社マイナビ (東京都千代田区)	10万円	

基本目標（２） 出雲との縁をつなぎ、人の流れをつくる

数値目標	社会増（５年間） 1, 600人 ＜参考＞ 単年度平均 1,600人÷5年=320人
実績値	251人

＜実績内訳＞

社会動態の推移(外国人を含む)

(単位:人)

	出雲市						社会増	外国人数 (各年度末)
	転入等			転出等				
	男性	女性	合計	男性	女性	合計		
H27年度	3,208	2,558	5,766	2,656	2,233	4,889	877	2,899
H28年度	2,932	2,342	5,274	2,781	2,272	5,053	221	3,126
H29年度	3,297	2,727	6,024	2,646	2,268	4,914	1,110	4,001
H30年度	3,451	2,909	6,360	2,895	2,474	5,369	991	4,908
R元年度	3,001	2,541	5,542	3,171	2,510	5,681	△ 139	4,605
R2年度	2,938	2,456	5,394	2,584	2,153	4,737	657	4,846
R3年度	2,899	2,348	5,247	2,687	2,309	4,996	251	4,805

〔社会動態の内訳〕

	転入等			転出等			社会増減数		
	合計	日本人	外国人	合計	日本人	外国人	合計	日本人	外国人
H27年度	5,766	4,416	1,350	4,889	3,988	901	877	428	449
H28年度	5,274	4,006	1,268	5,053	3,992	1,061	221	14	207
H29年度	6,024	4,219	1,805	4,914	3,969	945	1,110	250	860
H30年度	6,360	4,305	2,055	5,369	4,189	1,180	991	116	875
R元年度	5,542	4,224	1,318	5,681	4,015	1,666	△ 139	209	△ 348
R2年度	5,394	4,425	969	4,737	3,948	789	657	477	180
R3年度	5,246	4,190	1,056	4,995	3,842	1,153	251	348	△ 97

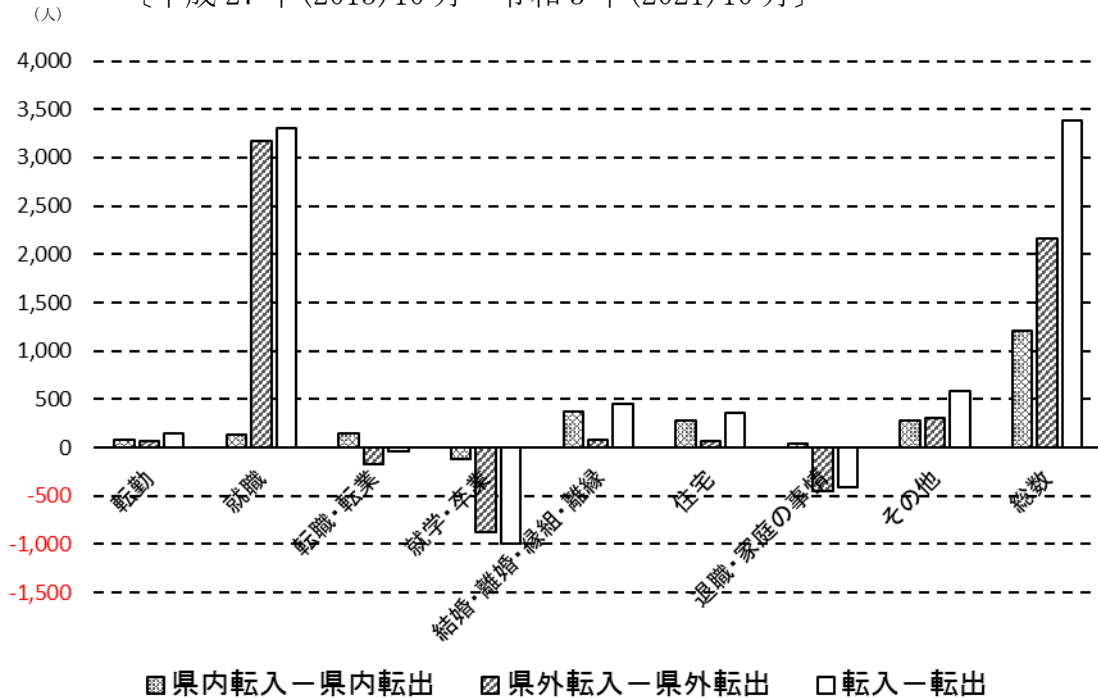
(出典) 住民基本台帳

- ・全体及び男女別ともに社会増となりました。
- ・国籍別では、日本人は増加しましたが、外国人は減少しました。

＜参考データ＞

①移動理由別の転入超過の状況（原因者のみ）

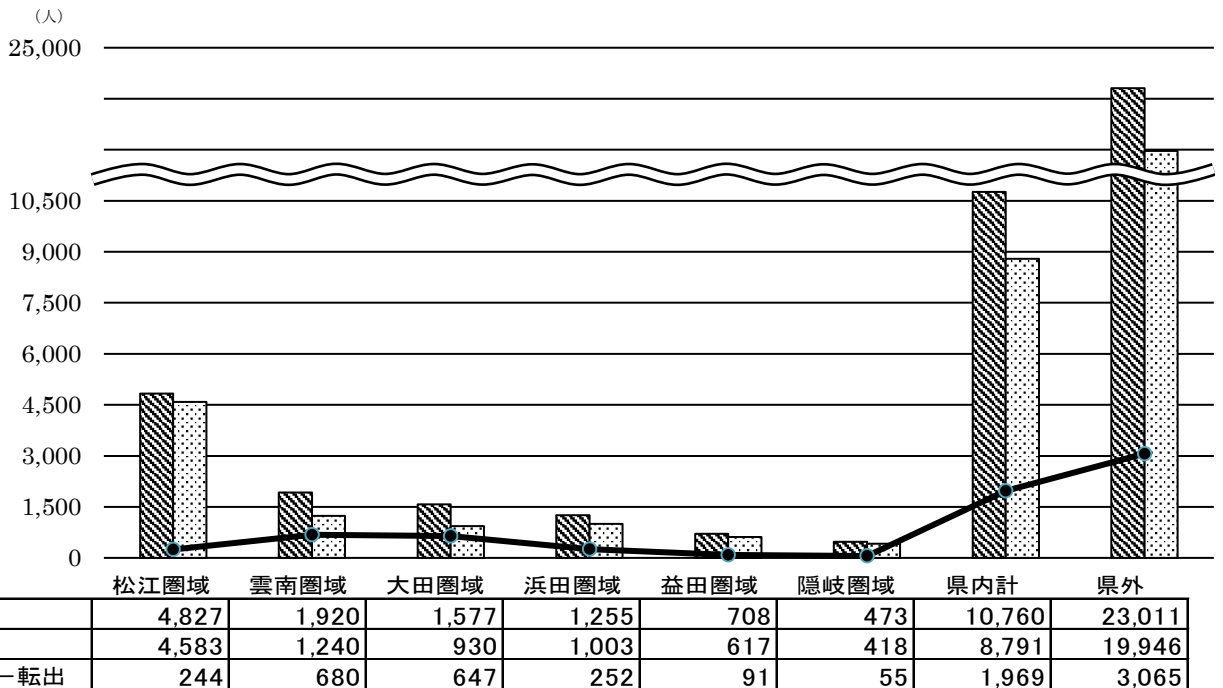
〔平成27年(2015)10月～令和3年(2021)10月〕



(出典)「島根の人口移動と推計人口」による市町村・移動理由別移動者数

②県内圏域別の人口移動の状況

〔平成27年(2015)10月～令和3年(2021)10月〕



(出典)「島根の人口移動と推計人口」による市町村間移動者数

③県外転出入の状況

	令和2年(2020)			令和3年(2021)		
	転入	転出	増減	転入	転出	増減
東京圏	397	482	▲85	410	437	▲27
名古屋圏	215	191	24	243	220	23
大阪圏	543	513	30	520	498	22
山陽圏	659	796	▲137	789	717	72
鳥取県	230	249	▲19	251	238	13
九州	198	214	▲16	221	209	12
国内計	2,646	2,972	▲326	3,101	2,836	265
国外	445	476	▲31	566	399	167
合計	3,091	3,448	▲357	3,667	3,235	432

(出典) 島根県人口移動調査

(注) 東京圏は「東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県」、大阪圏は「大阪府、京都府、兵庫県及び奈良県」

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標(KPI)	単位	実績値	目標値	(参考) R3年度目標値	評価
				R3年度	R6年度末		
(1)出雲の魅力発信	20	「出雲人-IZUMOZINE」及び「いづも暮らし」ホームページコンテンツアクセス件数(ページビュー数)	万件	33.3	66	53.52	C
	21	函柄入り出雲ナンバー交付枚数	枚	1,807	8,000	1,189	A
(2)移住促進	22	UIターン就職支援窓口相談者数	人	338	500 (年間延べ人数)	467	C
	23	移住支援金を利用して東京圏から移住した世帯数	世帯	7	25 (5年間)	5	A
	24	助成事業利用による女性のUIターン者数	人	21	50 (5年間)	10	A
	25 (※)	移住促進住まいづくり助成件数	件	15	100 (5年間)	20	C
(3)定住促進	28	空き家バンク登録物件数	件	20	150 (5年間)	30	C
	29 (※)	定住促進住まいづくり助成件数	件	132	150	135	B
	30	市内大学・専門学校在学生数	人	2,030	2,000	1,895	A

はR3年度にKPIを改訂した箇所

※No25、29 R3年度にKPIを改訂したが、改訂前のKPIで評価

<参考>

(2)移住促進	26 (※)	新婚世帯・子育て世帯のUIターン支援助成件数	件	-	35件/年	35	-
	27 (※)	過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	件	-	30件/年	30	-

※No26、27 R4年度からの新規のKPIのため、R3年度は評価未実施

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価				
	A	B	C	D	その他
11	4	1	4	0	2

(1) 出雲の魅力発信

- 図柄入り出雲ナンバーは、八岐大蛇デザインを採用したことで、若い人をはじめ多くの年代の方から支持を得て、交付2年目も想定を超える多くの申込がありました。取組を強化します。
- 出雲の「しごと」と「暮らし」の情報発信については、閲覧者数がを下回りましたが、情報発信とともに、令和4年度に検証を行い、閲覧者増に向けたを増やしていきます。

(2) 移住促進

- 東京圏からの移住促進については、事業が認知され、目標値を上回りました。今後も東京圏の対象者と対象事業所への広報、移住相談会やフェアでの情報発信を行い、積極的に取り組みます。
- 「女性のUIターン支援」についても、Iターン女性による出雲暮らしの魅力を伝えるブログの定期的な発信により、安定してUIターン者の確保につながっています。今後も利用者の意見も聞きながらニーズにあった制度への検討も行い、事業を進めていきます。
- 移住促進住まいづくり助成については、助成対象である新婚、子育て世帯や重点支援地域への移住要件を満たす者が少なかったため、目標達成となりませんでした。
- 空き家バンクの充実と利活用の促進については、空き家バンクの登録数は目標値を下回りましたが、空き家民間団体との連携協定の締結等により、民間不動産業者における空き家の利活用は順調に推移しています。

(3) 定住促進

- 定住促進住まいづくり助成については、県事業と重複して申請され、最終的に市事業の辞退があり、目標数を下回りました。
- 地元大学・専門学校の魅力化支援等については、市民向けの公開講座を充実させるなど、各学校の魅力発信を行うことができました。情報発信を積極的に行ったことが学生の確保に繋がり、目標設定を上回りました。

基本目標（3） 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

数値目標	出生数（5年間）8,000人 ＜参考＞ 単年度平均 8,000人÷5年=1,600人
実績値	1,490人（参考：合計特殊出生率 1.72（暦年））

＜実績内訳＞

出雲市の自然動態の推移（外国人内数あり）

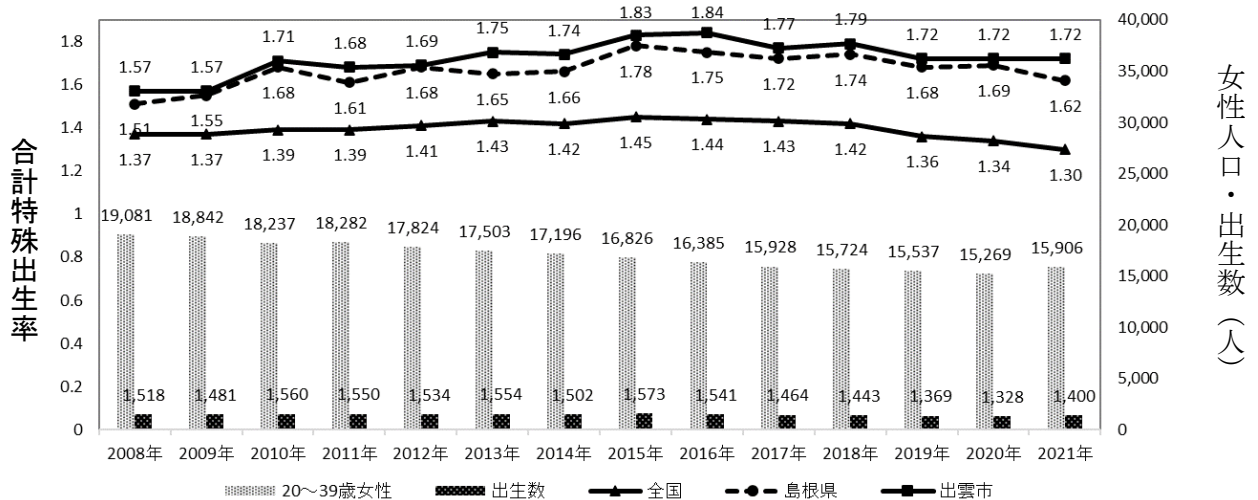
	出生数		死亡数		自然増減数	
		うち外国人		うち外国人		うち外国人
H27年度	1,599	20	2,057	10	△ 458	10
H28年度	1,571	23	2,025	3	△ 454	20
H29年度	1,474	17	2,088	2	△ 614	15
H30年度	1,406	37	2,024	5	△ 618	32
R元年度	1,436	47	2,100	2	△ 664	45
R2年度	1,381	65	2,120	4	△ 739	61
R3年度	1,490	65	2,223	9	△ 733	56

（出典：住民基本台帳）

- ・出生数については、R3年度は増加に転じましたが、死亡数は増加傾向で、自然減の状態が続いています。
- ・外国人住民の出生数は横ばいです。

＜参考データ＞

合計特殊出生率の推移と女性人口（20～39歳）・出生数（暦年）



【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	実績値	目標値	（参考） R3年度目標値	評価
				R3年度	R6年度末		
(1)結婚支援	31	婚活ツアー実施回数	回	0	10 (5年間)	2	D
		カップル率	%	0	30.0	12.0	D
	32	ライフデザイン講座開催数	回	2	3回/年	3	C
(2)妊娠・出 産・子育てへの 切れ目ない支 援	33	一般不妊治療費助成制度利用 (申請) 件数	件	192	250件/年	250	C
		不育症治療費助成制度利用 (申請) 件数	件	4	50 (5年間)	10	D
	34	あかちゃんのお世話教室満足度	%	92.2	100.0	97.3	B
		はじめての子育て講座満足度	%	90.0	100.0	94.5	B
		4か月児健診対象者の絵本とのふ れあい実施率	%	100.0	100.0	100.0	A
		にこっこティータイム講座満足度	%	99.0	100.0	95.5	A
	35	子育て支援センター利用者数	人日	41,489	54,000	54,000	B
		ファミリーサポートセンター利用者数	人日	6,696	6,270	6,194	A
	36	4月1日時点の認可保育所・認定 こども園・小規模保育事業施設の 待機児童数	人	1	0	2	A
		児童クラブ利用者数（5月1日時 点）	人	2,497	2,641	2,307	A
	37	通訳・翻訳件数（子ども未来部所 管）	件	2,312	2,300件/年	2,300	A

はR3年度にKPIを改訂した箇所

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	実績値		目標値		(参考) R3年度目標値	評価
				R3年度	R6年度末	R3年度末	R6年度末		
(3)教育の充実	38	全国学力調査 ・授業を理解している割合	小学 5 年生	%	国語 86.4	90.0	90.0	B	
					社会 未実施	90.0	88.2		
					算数 85.0	90.0	87.3		
					理科 未実施	90.0	90.0		
			中学 2 年生	%	国語 81.9	85.0	85.0		B
					社会 未実施	85.0	81.6		
					数学 78.9	85.0	82.9		
					理科 未実施	85.0	82.8		
	全国学力調査 ・授業で、課題の解決に 向けて自分で考え、自分 から取り組んでいる割合	小6	%	80.6	85.0	81.7	B		
		中3	%	85.7	80.0	77.5	A		
	39	全国学習状況調査 ・授業のICT活用状況 (学級週1回以上)	小学校	%	87.9	100.0	93.0	B	
			中学校	%	85.7	100.0	91.5	B	
	40	全国学習状況調査(中3) ・英語の授業は好きだ(肯定回答割合)	%	-	65.0	58.3	D		
		全国学習状況調査(中3) ・英語の授業はよく分かる(肯定回答割合)	%	-	80.0	71.3	D		
	41	学校図書館を活用した 授業実施数 (1学級あたりの年間時 数)	小学校	時間	23	30.0	27.4	C	
			中学校	時間	3	8.0	7.1	D	
		前項目のうち学校司書 (学びのサポーター、読 書ヘルパー)が授業に関 わった割合	小学校	%	23.3	20.0	16.8	A	
			中学校	%	11	20.0	17.6	C	
		学校司書(学びのサポーター)配 置割合(配置校/全校)	%	17校/47校	30校/44校	23校/44校 ※全小学校配置	C		
	42	不登校児童生徒の割合	%	3.18	1.98	2.04	C		
43	支援生徒数(ひとり親家庭の生徒 への学習支援)	人	52	280 (5年間)	50	A			
44	日本語指導期間1年以上の児童生徒の日本 語能力ステージの向上割合(日本語指 導1年の児童生徒の1年経過後の日本語 能力ステージの向上)	%	80.1	85.0	75.4	A			
45	アプローチカリキュラム策 定率	保育所	%	78.5	100.0	74.8	A		
		幼稚園	%	100	100.0	88.6	A		
	保幼小交流の日参加率	%	-	100.0	98.2	D			
	育ちの応援シート回収率	%	100	100.0	99.8	A			
(4)ワーク・ライ フ・バランスの 推進	46	ワーク・ライフ・バランスに関する企業 や市民に向けた講座の開催数	回	8	5回/年	5	A		

はR3年度にKPIを改訂した箇所

※No40 全国学習状況調査において、英語調査が実施されていないため実績値未記入

※No45 新型コロナウイルス感染症の影響により、保幼小交流の日を中止したため実績値未記入

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
35	14	8	6	7

(1) 結婚支援

- 昨年度に続き、コロナ感染拡大防止のため、婚活ツアーは実施できませんでしたが、各種団体等と連携し、独身男女へ出会いの場の提供や婚活セミナー、オンライン婚活などを実施しました。
- ライフデザイン講座についても、参加者を限定して開催したため、目標達成はできませんでした。

(2) 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

- 不妊治療及び不育治療への支援については、昨年度、助成件数が過去最多となりましたが、今年度は目標値を下回りました。一般不妊治療費助成は令和4年度に改正を行い、治療開始を検討している夫婦を含め、広く制度が認知されるよう周知を行います。また、不育治療については、受療者の母数が年度により大きく異なるため、申請件数の増減あります。
- 子育てと仕事の両立支援に掲げる待機児童数、児童クラブ利用者については、保育所等や児童クラブの施設整備（増改築含む）を行い、受入人数の増加につなげました。
- 外国籍保護者への子育て支援については、ポルトガル語通訳翻訳員を1名配置して、通訳や翻訳を行いました。今後も通訳翻訳員を配置し、通訳対応の他、翻訳物の充実に一層努めていきます。
- 子どもの医療費助成については、全ての子どもが対象となったため、評価指標を掲げる必要がなくなりましたので対象事業から削除しました。

(3) 教育の充実

- 学力向上推進事業では、教育指導員による「めあてと振り返りを意識した授業スタンダード」の普及・定着を年間通して行い、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善の組織的な推進が図られ、新学習指導要領の趣旨理解は概ね達成していますが、「めあて」と「振り返り」を練り上げて授業構想することに課題が残り、目標の達成とはなりませんでした。
- ICT機器導入による効果的学習の推進については、いずれもGIGAスクールプランのもと、各教室に整備されたタブレット端末、大型モニター等の活用を推進しました。しかし、各教員のICT活用能力の違い等により、活用頻度に差が生じており、目標達成とはなりませんでした。
- ひとり親家庭の生徒への学習支援については、市内公立中学校と連携し生徒募集を行い、定員50名に対し76名の応募がありました。令和4年度からは非課税世帯等の中学生も対象に加え、全体定員を増やし実施しています。
- 日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実については、日本語初期集中指導教室において、保護者支援を含め円滑な就学に向けた支援を行いました。初期指導の充実、母語支援、指導員等の集中的な配置による拠点校での指導により、2年以内の日本語カステージアップが多く見られました。

(4) ワーク・ライフ・バランスの推進

- 企業及び市民への啓発促進について、ワーク・ライフ・バランスに関する企業向け出前講座開催に取り組みました。周知方法を見直し、受講希望の企業が多くあり、予定を上回る企業に対応することができました。令和4年度には「イクボス宣言」を行い、さらなる推進に向け、事業を継続していきます。

基本目標（４）住みやすさ No.1 のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める

数値目標	市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90% <参考> 平成24年度の同調査結果 83.4% 平成28年度の同調査結果 87% 令和元年度の同調査結果 86%
実績値	89.4%（令和3年度調査結果より）

【令和3年度市民満足度調査の概要】

- (1) 調査対象者 市内に居住する満18歳以上の者
- (2) 調査数 4,000人
- (3) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送ウェブ又は郵送にて回答
- (4) 調査結果 回答数1,718人（回答率43.0%）

【数値目標の達成状況】

基本的方向	No.	重要業績評価指標（KPI）	単位	実績値	目標値	（参考） R3年度目標値	評価
				R3年度	R6年度末		
(1)安全、安心なまちづくり	47	防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入・登録者（世帯）数	人	29,735	48,000	29,798	B
(2)生涯現役のまちづくり	48	特定健診受診率	%	44.3	60.0	51.1	B
		がん検診受診率					
		①胃がん検診（40～69歳）	%	3.0	10.0	6.7	
		②大腸がん検診（40～69歳）	%	24.5	50.0	38.4	
		③乳がん検診（40～69歳）	%	39.4	60.0	48.9	
		④子宮がん検診（20～69歳）	%	42.3	70.0	54.6	
	⑤結核・肺がん検診（40～69歳）	%	4.3	10.0	4.0		
	49	朝食を食べない子どもの割合					
		3歳児	%	2.5	0	1.8	C
		小学6年生	%	0.8	0	0.4	D
中学3年生		%	1.2	0	0.4	D	
		食のボランティアの活動回数	回	261	330回/年	330	C

はR3年度にKPIを改訂した箇所

基本的方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	実績値	目標値	(参考) R3年度目標値	評価
				R3年度	R6年度末		
(3)共生のまちづくり	50	自動車改造費助成件数 (操作系改造を行った15歳~65歳の方の件数)	件	2	10件/年	10	D
		自動車運転免許取得費助成件数	件	1	5件/年	5	D
	51	障がい者差別解消法における合理的配慮や“あいサポート”運動の普及啓発の出前講座受講人数	人	2,099	6,000 (5年間)	1,200	A
	52	外国人住民の長期 (5年以上) 滞在者の割合	%	39.9	40.0	39.0	A
(4)中山間地域の活性化	53	小さな拠点づくりに向けた取組 (現場支援地区の累計数)	地区	3	5	4	C
(5)地域を支えるひとづくり	54	自治会加入世帯数	世帯	38,888	41,000	40,591	B
	55	コミュニティセンター利用者数	人	530,454	810,000	809,505	C
	56	市民協働事業の補助対象事業採択数	件	採択数5 交付数4	6件/年	6	B
		出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	人	6,192	10,000	10,000	C
	57	スポーツイベント市民参加者数	人	714	2,900	2,435	D
		58	島根大学・島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数	件	119	130	121
(6)交通ネットワークの確保	59	山陰道「出雲・湖陵道路」進捗率	%	74.0	100.0	81.4	B
		山陰道「湖陵・多伎道路」進捗率	%	79.0	100.0	68.8	A
	60	出雲縁結び空港就航便の利用者数	万人	43	110	104.6	D

はR3年度にKPIを改訂した箇所

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
21	3	7	5	6

(1) 安全、安心なまちづくり

- 防災行政無線戸別受信機、いずも防災メールの加入・登録促進については、ハザードマップ全戸配布にあわせたチラシ配付及びPTA総会でのチラシ配付など若年層を対象としたPRを実施するとともに、防災出前講座でのPRやチラシの窓口設置などを実施しました。情報収集手段が多様化しているなか、目標に届きませんでした。今後も様々な機会を通して、幅広い年齢層への周知に努めていきます。

(2) 生涯現役のまちづくり

- 健康診査・がん検診の受診の推進については、これまでと同様にあらゆる媒

体を活用し周知を行いました。受診行動に誘導するマーケティングを上手く活用した周知の工夫等が足りず、目標には達しませんでした。今後は、ナッジ理論を活用した周知方法を取り入れ、検診受診率向上を目指します。

- 第3次出雲市食育推進計画に基づく取組の推進については、出雲市食のボランティア連絡協議会へ、一部業務を委託し、地域における食育推進に取り組みました。感染防止対策として、人数制限がかかることも多く、広く多くの市民へ向けての啓発ができない状況も重なり、目標は達成できませんでした。

(3) 共生のまちづくり

- 障がい者の就労等社会参加の促進については、身体障がい者手帳所持者に自動車改造及び運転免許取得の助成を実施しました。個別に制度周知を行うなど周知していますが、要件に該当し希望する者が多くいる年とそうでない年にはバラつきがあり、目標を下回りました。今後、身体障がい者限定の制度から、その他の障がい者手帳所持者にも対象を拡大する予定です。
- 協働によるバリアフリー化の推進については、あいサポート運動及び障がい者差別解消法の出前講座や障がい者週間における啓発活動に取り組みました。コロナ感染症拡大のため、団体での講習開催は減少しましたが、受講者数は目標を上回りました。
- 多文化共生推進プランに基づく取組の推進については、外国人住民の就業を促進するための企業向けセミナーなど多文化共生のまちづくり施策を展開しました。一方、コロナ感染症拡大のため、外国人向けの防災研修等、開催できなかったものもありました。雇用情勢が良く、外国人住民の転出が少なくなったことや通訳を配置し相談体制の充実、多言語による情報発信に努めていることもあり、目標を達成することができました。

(4) 中山間地域の活性化

- 地域おこし協力隊員は、新たな2名を含む4名を配置しました。また、採用には至りませんでした。新たな地域おこし協力隊員の募集も行いました。
- 地域課題解決に向け、地域住民による話合いが促進され、具体的な実践活動につながった地域もありますが、実践に向かえない地域もありました。少子高齢化による人口減少が加速する中、住民の主体的な取組みにつながる話合いなどを行う中心的な役割を担う者が不足している現状があります。
- 地域課題解決に向けた取組が推進されるよう、うみ・やま（中山間地域）応援センターの取組を通して中山間地域の活性化を図るとともに、新設した中山間地域振興室による、「うみ・やま支援施策検討会議」において、より具体的な施策を横断的に検討していきます。

(5) 地域を支えるひとつづくり

- 自治協会等が取り組む加入促進や住民自治活動に対する支援については、新たな試みとして、自治会支援アドバイザー事業を実施し、3地区で専門業者からアドバイスを受けました。コロナ感染拡大の影響で地域行事が制限され、加入促進啓発活動を実施する機会も減ったこともあり、目標を下回りました。引き続き、自治会支援アドバイザー事業の実施や自治会加入推進員を活用し、加入率の低い地区の新興住宅地の世帯を中心に、加入促進に取り組みます。
- コミュニティセンターを活用した地域事業の促進については、コロナ感染拡大の影響に加え、高齢化の進展等により既存グループ等の活動も減少し、目標を下回りました。ウィズコロナとなり、地域事業再開を促していきます。
- 市民協働の推進については、地域社会の発展に向けた活動を実施するため、補助金交付申請が当初は5団体からありましたが、コロナ感染拡大により事

業実施を断念する団体があり4団体への交付となりました。

- 市民レベルでのスポーツ・文化活動の推進については、コロナ感染拡大により、出雲総合芸術文化祭では、規模縮小及び6事業を中止しました。スポーツイベントは、ツーデーウオーク、スイムランが中止、くにびきマラソン大会と一畑マラソン大会は、参加資格、定員を限定して開催しました。
- 地元大学・専門学校との連携による人材育成については、各校と包括的連携協定を締結し、講師の派遣を受ける等の協力を得たり、共同事業に取り組んでいます。併せて、学生の実習を受け入れる等、学生のキャリアアップに協力しています。目標は下回りましたが、前年度比較では増となりました。

(6) 交通ネットワークの確保

- 高速道路ネットワークの早期構築については、令和6年度の開通に向け、国において事業推進が図られました。出雲・湖陵道路の進捗率が下がっていますが、令和3年度に事業の再評価があり、全体事業費が見直し(増額)されたためです。
- 出雲縁結び空港の国内路線網の充実と利用促進については、ビジネス利用向上及び冬季閑散期対策のために各種助成を行ったほか、各種イベントや広報媒体により運航路線のPRを実施しました。
- ウィズコロナに入り、社会経済活動の強化に伴い、空港利用者数の増加傾向が顕著となってきており、この機運を後押しするため、運賃助成等の即効性のある事業やPR、広告支援を実施します。更には、増便やダイヤ改正、路線の新規開設等も、各航空会社に働きかけを行い、利便性の向上を図ります。

基本目標（５）広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす

数値目標	中海・宍道湖・大山圏域人口 60万人の維持
実績値	63.8万人（令和4年3月末 住民基本台帳人口）

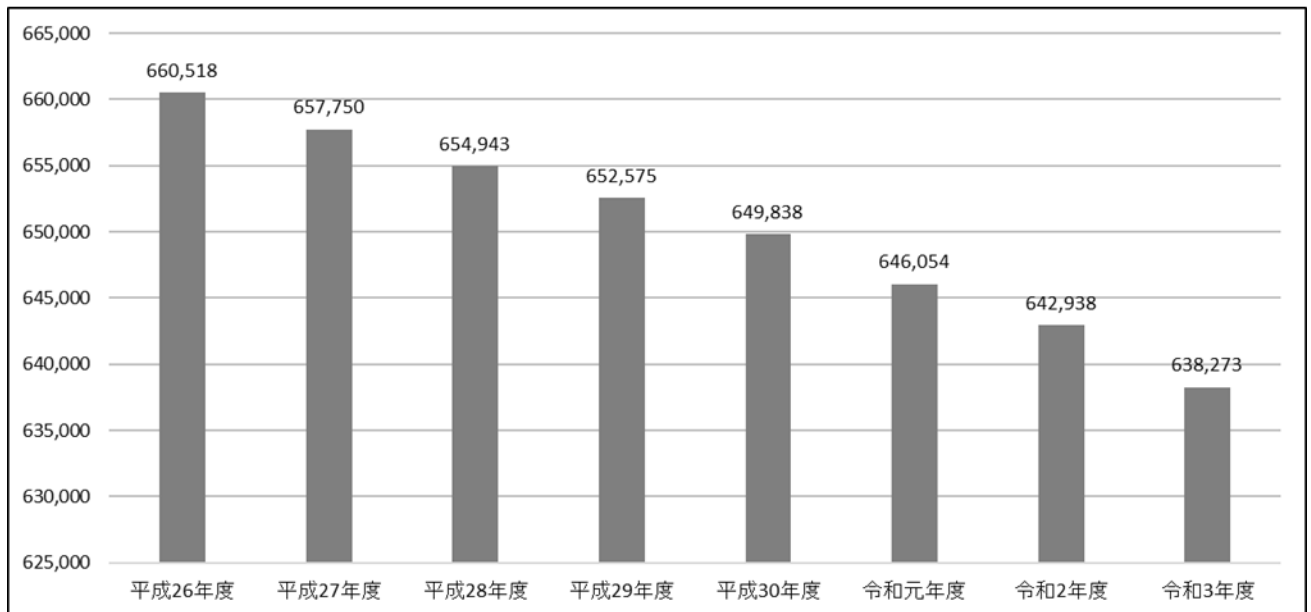
<実績内訳>

中海・宍道湖・大山圏域 住民基本台帳人口の推移

（単位：人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人口	660,518	657,750	654,943	652,575	649,838	646,054	642,938	638,273
前年度対比	-	△ 2,768	△ 2,807	△ 2,368	△ 2,737	△ 3,784	△ 3,116	△ 4,665

（注）人口は各年度の3月31日現在の数値



中海・宍道湖・大山圏域人口は、60万人を維持しています。
一方で、圏域人口は減少傾向が続いており、継続した取組が必要です。

【数値目標の達成状況】

基本的 方向	No.	重要業績評価指標 (KPI)	単位	実績値	目標値	(参考)	評価
				R3年度	R6年度末	R3年度目標値	
(1)中海・宍道湖・大山 圏域市長 会を軸とした 広域連携の 推進	1	ビジネスマッチング商談件数	件	263	3400 (5年間)	680	D
	2	圏域での外国人観光客宿泊数	千人泊	8	459	270	D
	3	圏域での国内観光客宿泊数	万人泊	239	433	418	D
	4	観光消費額	億円	599	1,160	1,088	D
	5	免税店登録店舗数	店舗	142	220	175	B
	6	圏域内への移住者数	人	3,084	3,000 (維持)	3,000	A

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

指標数	評価			
	A	B	C	D
6	1	1	0	4

- 圏域人口が減少している中、圏域内への移住者数は、3,000人を維持しており、広域連携の取組が一定のダム効果を発揮していると考えます。
- ビジネスマッチングの商談件数は、新型コロナの影響もあり、オンラインでの開催となりました。対面での開催時の半分程度に留まる結果となっており、対面とオンラインと両方の長所をいかした方法を検討していく必要があります。また、医工連携事業では、2件の実用化が実現しました。
- 観光振興事業については、新型コロナの影響があるなか、海外への観光プロモーションやSNS等を活用し、圏域の魅力を発信することにより、圏域への誘客を促進しました。
- インバウンド再開に向けて、受入環境の整備等準備を整えるとともに、効果的に国内に向けた情報発信を実施することにより、圏域周遊促進及び旅行消費拡大の取組を強化していく必要があります。